

平成27年度
事業報告書

学校法人明照学園

目 次

- I 法人の概要
 - 1 法人の名称等
 - 2 建学の目的・精神・教育方針
 - 3 校名『樹徳』の由来
 - 4 学校の沿革
 - 5 設置する学校・学科等
 - 6 学校・学科等の生徒数の状況
 - 7 役員及び評議員の概要
 - 8 教職員の概要

- II 平成27年度事業報告(主要事項)
 - 1 法人（昭和26年3月8日認可）
 - 2 樹徳高等学校（昭和23年8月6日認可）
 - 3 樹徳中学校（平成13年3月29日認可）
 - 4 樹徳幼稚園（昭和28年6月6日認可）

- III 財務の概要
 - 1 決算の概要
 - (1) 資金収支計算書の状況
 - (2) 消費収支計算書の状況
 - (3) 貸借対照表の状況
 - 2 財務分析経年比較

I 法人の概要

1 法人の名称等

- ・ 法人名称 学校法人 明照学園 (昭和26年3月8日認可)
- ・ 理事長名 野口 秀樹
- ・ 所在地 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号

2 建学の目的・精神・教育方針

明照学園は、教育基本法第1条の目的「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国の育成を期して行われなければならない。」を踏まえ、仏教精神（宗教的情操）に基づき、日本国民である自覚と誇りを堅持し、国家・社会ひいては国際社会に奉仕し得る人間の育成を目的とする。

即ち、高い学問（知性）・技術の修得と、深い智慧と慈悲（徳性）、健康で強靱な体力精神力との調和ある人間育成に努めることを目的に設立された。

この為に、教職員は夫々の専門分野のたゆまぬ研鑽と、自らの人格陶冶（仏教精神）に努めなければならない。

創立の理念は仏教を基にした人間教育である。「自主独立」、自分の足で自分の人生を切り拓いていくことのできる人材の育成である。自己を見つめ、「私」へと続いてきた命の尊厳、今を生かす他力の存在、この不思議に感謝し、この喜びを体感する。大いなる他力をいただく我は、他のために生きる。これは世の摂理、バランスであり、そこに私の与えられた使命がある。

学校生活の中で祈る。この心を行動に！あらゆるものに感謝する。これを行動に！喜ぶ。この喜びを他のための行動に！心のひだを柔軟にさせる感動の多い学校生活を！「心即行」の実践者を育成したい。行いは心を成長させるものである。

人はいかにすぐれた師に出会い、よき教えに接したとしても、自分を律する者は自分以外にはない。自律心なき者は自主独立の人間とは言えないのである。心を練磨し、心をしっかり育ていく教育を実践していきたい。

- ① 仏教精神（宗教的情操）に基づく全人教育＝手を合わせる。
（智慧と慈悲との調和による、感謝のできる人間教育）
- ② 制服の三条の白線が意味するもの（篤敬三宝）
明るく (仏・・・智慧)
正しく (法・・・道徳)
仲良く (僧・・・共生)
- ③ 校名に託された教育の心
明照学園・・・・・・・・智慧の完成＝無明に光を（違いを知り・同じを知る）
明照大師（法然上人の大師号）
樹徳・・・・・・・・慈悲の完成
徳を樹つるは滋きに務め、悪を除くは本を務む。
- ④ 校是・・・・・・・・夢は大きく 根は深く（大樹深根・良樹細根）
- ⑤ 学習・・・・・・・・器に応じた授業
- ⑥ 生活指導の精神＝どのような生徒を育てたいか。
自分を大切にす生徒・・・・・・・・感謝
自分以外の人を大切にす生徒・・・・・・・・思いやり
社会に役立つ有用な生徒・・・・・・・・報恩

3 校名『樹徳』の由来

樹徳とは、徳を樹えることで、徳を身に樹てることである。わが身に徳を積みおさめることで、積善し悪を除いて成人することの意である。古くは、もと書経泰誓篇にある言葉である。

樹徳務滋除惡務本・・・・・・・・徳を樹つるは滋きを務め、悪を除くは本を務む・・・・・・・・と読む。

恩徳を人にしくのは、少し余計がよい。悪を除くには、根もとから除くがよい。除かなければ後の害をなすということである。

近くは、教育勅語の中に樹徳深厚・・・・・・・・徳を樹つることは深厚なりとある。

大正3年、創立に際して学校に命名したのは、山田郡長の直井三郎氏で、今日の樹徳高等学校の隆昌を予見された、輝かしい余徳に深甚の感謝を捧げるものである。

明照学園の明照は、明治天皇から法然上人に賜った明照大師号によるもので、因みに上人は、50年毎（6度にわたり）大師号下賜の榮に浴しておられる。

本校は、浄土門宗の学校で、校名としては明照の智による高い良識と質実剛健の行を一体とした伝統の中、たくましく日々怠らない厳然たる私学である。

4 学校の沿革

学校法人明照学園は、大正3年（1914年）桐生市本町6丁目、田中山浄運寺住職野口周善先生により創立された裁縫伝習所を母体とし、同年10月樹徳裁縫女学校として正式に認可を得、以来102年間輝かしい隆盛と充実の歴史を培ってきた。

現在、男子部、女子部ともに普通科最難関大学進学コース(男女共学)、同特別大学進学コース、同大学進学コース、同総合コースの7コースを置き、広沢町に附属樹徳幼稚園を併設している。

更に平成13年度には、中高一貫教育を実践するため隣接の稲荷町に樹徳中学校を開設する。

この学園に学ぶ者約1,500名、卒業生は約3万4千名を数え、地域社会への貢献も少なくないと自負するとともに、校名の語る高い良識と、明照の智慧による力強い個性的な生活を目指し、典雅な明るさをもって、質実剛健の輝かしい伝統の恵みの中で、たくましい努力を続けている。

年 度	事 項
大正 3年	4月 裁縫女学校として桐生新町(現在の本町5丁目)に創立 9月 本町6丁目に移転
大正 4年	4月 裁縫女学校第1回卒業式挙行
大正13年	樹徳裁縫女学校の設置科を群馬県に提出 本科(2年)、速成科(1年)、専攻科(6か月)、別科(年限を定めず)の4科に 洋服科(1年)、随意科(年限を定めず)を新設
昭和 2年	桐生市大字新宿稲荷塚1002番地(現在の錦町1丁目1番20号)に移転
昭和11年	女子セーラー服の併用開始
昭和14年	女子の制服をセーラー服に統一
昭和16年	財団法人樹徳高等裁縫女学校となる。
昭和21年	樹徳高等女学校と改称、女子部校歌制定
昭和22年	カスリーン台風新川大水害被災校舎流失
昭和25年	樹徳高等学校・同中学校と改称 別科2課程を併設 初代校長 野口周善先生遷化、 2代校長 野口健作先生就任
昭和26年	学校法人明照学園樹徳高等学校と改称 同窓会発足 初代会長に半田太子氏就任
昭和28年	学校後援会発足 初代会長に星野亀三郎氏就任 樹徳幼稚園を併設
昭和30年	講堂落成 奨学金給費制度発足
昭和32年	高等学校充実のため中学校廃止
昭和34年	4教室(第3校舎)建築 「明照の鐘」設置
昭和35年	男子部普通科、商業科の2課程を設置 男子部校歌制定 柔道演技第1回発表会
昭和37年	6教室(第4校舎)建築 女子部商業科設置 「樹妙だより」第1回発行
昭和38年	男子部第1回卒業式挙行 講堂増築 4教室(第6校舎)建築 柔道場(第6校舎内)改築
昭和39年	「樹妙」初版発行 8教室(第7校舎)建築 管理住宅建築 相生総合グラウンド設置
昭和40年	2教室(第5校舎学習室)増築
昭和41年	4教室(第3・第4校舎)増築

昭和42年	初代校長顕彰碑建立 梅田町字高沢に大滝山荘を設置 雨天体操場（第5校舎）増築 タイプ室（第6校舎）増築
昭和43年	合宿室を設置
昭和45年	商業実践室、計算実務室、被服実習室（第1校舎）改築開始 広沢町にグラウンド用地取得（現在の古庭の入球場）
昭和46年	浄土宗総本山知恩院、第1回全教職員練成宿泊実施 商業実践室、計算実務室、被服実習室及び コンピュータ富士通FACOM-230-10設置（第1校舎）完成
昭和47年	女子部普通科設置 公式野球部後援会発足 初代会長堀越至一郎氏就任
昭和48年	男子部情報処理科新設 広沢町に野球場「現在の古庭の入球場」新設 コンピュータ富士通FACOM-230-15設置（第1校舎） 第1回中学生柔道・卓球大会（招待試合）挙行（現在の月影杯）
昭和51年	生徒寮（天神寮）設置
昭和52年	2代校長 野口健策先生 群馬県功労者表彰受賞 特別進学コースとしてKクラス発足
昭和53年	2代校長 野口健策先生 藍綬褒章受章 天神寮を廃止し相生寮を開設 第4校舎新館建築
昭和54年	2代校長 野口健策先生遷化 3代校長 星野幸一先生就任 明照学園 樹徳高等学校服務規定制定 広沢野球場に合宿所新設
昭和55年	力誉健策校長顕彰記念樹徳高等学校技能優秀者表彰規定制定 樹の根の会発足 初代会長に小島一男氏就任 樹妙会（同窓会）、樹幹会（学校後援会）、樹の根の会（後援会OB会） 樹球会（野球部後援会）各会名命名
昭和56年	奨学生制度制定 相生寮を廃止し愛宕寮とする 幼稚園を広沢町古庭の入に移転
昭和57年	力誉健策校長顕彰記念館新築 浄運寺28世住職樹徳高等学校創立者 野口周善先生顕彰奨学生制度規定制定 「緑蔭讃歌」星野幸一先生御詠 生徒生活日誌「やわらぎ」作成・使用開始 第1回群馬県私学教員海外教育事情視察開始、参加 「樹幹だより（学校後援会新聞）」第1号発行
昭和58年	文化祭（樹徳慈善バザー）を月影祭と名称変更 「あかぎ国体」を記念し市街地清掃奉仕開始
昭和59年	第1回緑蔭祭（歴代校長、職員、生徒関係、カスリーン台風新川大水害被災物故者慰霊祭）挙行 職員服務規定制定、諸規定集編纂
昭和60年	第1回生徒海外研修（ホームステイ）実施
昭和61年	正道館建築、本町6丁目2階建駐輪場建築 川内町にベジタブルセンター設置 樹幹会（協力店会）発足 初代会長に白砂一男氏就任
昭和62年	K1を文系、K2を理系コースとして充実を図る 第1回校内合掌コンクール実施
昭和63年	セミナーセンター設置 第1回月影杯剣道大会（招待試合）挙行 男子部 愛宕寮を全面取得して学習合宿所として開設
平成 元年	渡良瀬川河川敷グラウンド設置 女子情報処理コース新設 コンピュータ室新設、大型コンピュータ導入 稲荷町駐車場新設（現樹徳中学校地）
平成 2年	セミナーセンター完成 第1回月影杯剣道大会（招待試合）挙行 女子部 女子情報処理科設置

	学園敷地全面取得 相撲部県総体6年連続10回目の優勝 在籍生徒2,700名を超える
平成 3年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園)出場 稲荷町駐車場拡張 進学コースとしてSクラス設置
平成 4年	広沢野球場拡張整備「古庭の入り球場」と命名 3代校長 星野幸一先生 群馬県私立中学・高等学校協会第6代会長に就任 群馬県私学厚生協会第6代理事長に就任 群馬県私学振興会副理事長に就任 群馬県私立学校審議会委員に就任 日本私立中学高等学校連合会常任理事に就任 群馬県総合表彰受賞
平成 6年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園)2年連続出場 芸術作品鑑賞室「美の部屋」完成 セミナーセンター茶室完成
平成 7年	創立80周年記念式典(11月15日) ベジタブルセンター相生町に移転 梅田町大滝山荘に研修館完成
平成 8年	3代校長 星野幸一先生 群馬県功労者表彰受賞 男子部情報商業科、女子部情報商業科を新設
平成 9年	3代校長 星野幸一先生 私学教育振興功労者文部大臣表彰受賞 錦町駐車場用地取得
平成10年	普通科総合コースをJ組と改称
平成11年	錦町駐車場拡張
平成12年	学校週5日制を実施、土曜講座開設 相生町5丁目にグラウンド用地取得 新宿2丁目に校地取得
平成13年	樹徳中学校を開設、稲荷町4番12号に中学校校舎建築、中高一貫教育を開始 中学校初代校長 野口秀樹先生就任 相生第2総合グラウンド設置
平成14年	相撲部群馬県総合体育大会20回優勝による「特別優秀学校」受賞 卓球部群馬県総合体育大会10年連続優勝による「優秀学校」受賞 浜松町2丁目に校地取得
平成15年	家庭科・情報商業科を2年次からのコース制に移行、普通科のみの募集となる。 ラグビー部全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園)出場
平成16年	中高一貫高等部校舎建築 3代校長 星野幸一先生 瑞宝小授章受章 群馬県私学振興会理事長に就任
平成17年	創立90周年記念式典(11月5日) 家庭科・情報処理科廃止
平成18年	普通科SK(スーパーケイ)コース設置 錦町1丁目(999番1号他)新川通校地拡張用地取得(2,776㎡)
平成19年	中高一貫高等部第1期生卒業(3月1日) 梅田町大滝山荘 学校用地(道路敷)購入完了
平成20年	SKコースをSS(スーパーサイエンス)コースに改称
平成21年	錦町1丁目(989番19号他)駐車場設置
平成22年	広沢グラウンド(古庭の入球場)内、学校用地(道路敷)購入完了 広沢グラウンド(古庭の入球場)内にトレーニングルーム新設・システムマシン設置 錦町新川通校地拡張用地取得
平成24年	稲荷町(樹徳中学校東側隣接地)学校用地取得 中学校長 野口秀樹先生 群馬県私立中学・高等学校協会会長に就任 明照学園理事長 野口秀樹先生 藍綬褒章受章 公益財団法人群馬県私学振興会副理事長に就任
平成25年	樹徳コミュニティーセンター「み法(のり)」完成 3代校長 星野幸一先生 勇退(25.3.31) 4代校長 野口秀樹先生就任(25.4.1) 力誉記念館1階・3階を改築、教室7部屋増設、女子トイレ改装(26.1.9完成) 正道館1階を改築、理科室2部屋を設置

平成26年	第3・第4校舎取り壊し(26.3終了) 高等学校入学定員を460名に変更 創立100周年記念事業 女子の制服を変更(平成26年度入学生より) 新校舎立志館竣工(26.10.17) 正道館のトイレを全面改修 第1、2、5、7校舎及びセミナーセンター取り壊し 創立100周年記念委嘱作品「アカシアの樹」を作曲家広瀬勇夫氏により作曲 明照学園のロゴマーク、シンボルマーク完成(27.1)
平成27年	ミャンマーにマイトリー基金による学校建設・開校 明照体育館完成(27.4) 創立100周年記念式典(5.23) 明照学園理事長 野口秀樹先生 群馬県功労者表彰受賞 卒業記念品 JTKオリジナルネクタイ・スカーフを作成
平成28年	新校章ロゴマークの校旗・応援旗・部旗完成

5 設置する学校・学科等

(平成27年5月1日現在)

設置する学校	開校年月日	学科等	所在地
樹徳高等学校	大正3年4月	全日制	〒376-0023
校長：野口秀樹	S23.8.6 認可	普通科	桐生市錦町一丁目1番20号
樹徳中学校	平成13年4月		〒376-0022
校長：野口秀樹	H13.3.29 認可		桐生市稲荷町4-12
樹徳幼稚園	昭和26年4月		〒376-0013
園長：瀬谷茂	S28.6.6 認可		桐生市広沢町三丁目4475

6 学校・学科等の生徒数の状況

(平成27年5月1日現在)

学校名		入学定員		収容定員	在籍者数	備考
樹徳高等学校	普通科	男	280	880	772	
		女	180	560	458	
樹徳中学校			60	180	129	
樹徳幼稚園				120	53	

7 役員及び評議員の概要

(1) 役員

(平成27年5月1日現在)

役職名	氏名	寄付行為選任区分	備考
理事長	野口 秀樹	第5条第1項	常勤、中学・高等学校長
理事	岸 芳正	第5条第3項	非常勤
理事	野口 善教	第5条第2項	非常勤
理事	阿部 高久	第5条第3項	非常勤
理事	星野 榮助	第5条第2項	非常勤
監事	高村 利久	第7条	非常勤
監事	山口 正夫	第7条	非常勤

(2) 評議員

(平成27年5月1日現在)

氏名	寄付行為選任区分	職	備考
野口 秀樹	第21条第1項	中学・高等学校長	
瀬谷 茂	第21条第1項	幼稚園長	
田代 文衛	第21条第2項	事務長	
丸山 晴子	第21条第3項	同窓会長(女子部)	
杉戸 健二	第21条第4項	後援会長(保護者)	(H27.12.14選任)
野口 善教	第21条第5項	学識経験者	
阿部 高久	第21条第5項	学識経験者	
星野 榮助	第21条第5項	学識経験者	

野口 幹子	第21条第5項	学識経験者	
小倉 康宏	第21条第5項	学識経験者	
岸 芳正	第21条第6項	理事	

8 教職員の概要

(平成27年5月1日現在)

(単位：人)

区分		高等学校	中学校	幼稚園	計
教育職員	本務	73 (13)	19 (3)	6 (5)	98 (21)
	兼務	23 (10)	3 (1)		26 (11)
職員	本務	18 (8)	3 (0)	2 (0)	23 (8)
	兼務	6 (4)	1 (1)	1 (0)	8 (5)
計		120 (35)	26 (5)	9 (5)	155 (45)

II 事業の概要(主要事項)

1 法人

(1) 理事会の開催状況

- ① 平成27年5月18日(理事5人5人出席)
 - ・ 第1号議案 平成26年度事業報告の承認について
 - ・ 第2号議案 平成26年度収支決算の承認について
- ② 平成27年12月14日(理事5人中3人出席)
 - ・ 第1号議案 評議員の選任について
- ③ 平成28年3月15日(理事5人中5人出席)
 - ・ 平成28年度事業計画の承認について
 - ・ 平成28年度収支予算の承認について

(2) 評議員会の開催状況

- ① 平成27年5月18日(評議員10人中9人出席)
 - ・ 第1号議案 平成26年度事業報告の承認について
 - ・ 第2号議案 平成26年度収支決算の承認について
- ② 平成27年12月14日(評議員11人中9人出席)
 - ・ 第1号議案 評議員の選任について
- ③ 平成28年3月15日(評議員11人中10人出席)
 - ・ 平成28年度事業計画の承認について
 - ・ 平成28年度収支予算の承認について

2 樹徳高等学校

(1) 平成27年度 教育・指導目標

教育方針の理解を徹底し、特に次の事項に重点を置いて指導

- ① 出席率の向上
- ② 挨拶の励行
- ③ 学力の向上
- ④ 各種検定合格率の向上
- ⑤ 運動部の強化

生徒重点指導事項

- ① 挨拶の励行……明るく元気に
- ② 清掃……美しい校舎・きれいな教室・花の在る生活

(2) 生徒の状況

平成27年度の入学生は、一貫校中等部からの内部入学を含め入学定員460人を超える478人の入学となり数年ぶりに定員を確保できた。

平成27年5月1日現在の生徒数は1,230人となり収容定員1,440人に対し84.5%の充足率である。

平成27年度入学状況・生徒数

(平成27年5月1日現在)

	定員	志願者	入学者	一貫校 進級者	1学年	2学年	3学年	計
					14クラス	13クラス	12クラス	39クラス
男	280	2,625	266	20	286	246	240	772
女	180	1,879	170	22	192	156	110	458
計	460	4,504	436	42	478	402	350	1,230

(3) 卒業者の進路状況

(平成27年度末 人)

進学者	人数	内訳	
		県内	県外
大学学部	157	35	122
短期大学	13	19	138
専修学校	60	13	
各種学校	29		
公共職業能力開発施設	10		
就職	74	男子 55	女子 23
各種学校進学者の内有職者	(4)		

その他	4	
合計	347	

(4) 施設設備の整備状況

生徒・職員の利便、学習環境の向上のため、次のとおり整備した。

- ・ 立志館・明照体育館等建物の竣工及びそれに伴う機器備品等の整備を行った。
- ・ 職員トイレ、一貫校高等部等のトイレの改修を行った。
- ・ 明照体育館にトレーニング器具及び勢至ホールにピアノを常備した。
- ・ 明照体育館地下倉庫にロッカーを整備した。
- ・ 教務システム用サーバーを更新した。

3 樹徳中学校

(1) 生徒の状況

平成27年度入学状況・生徒数

(平成27年5月1日現在)

	定員	志願者	入学者	一貫校 進級者	1学年	2学年	3学年	計
					クラス	クラス	クラス	クラス
男	60	36	27	24	24	24	18	66
女		31	21	17	17	18	28	63
計		67	48	41	41	42	46	129

(2) 生徒・職員の利便、学習環境向上のため、次のとおり整備した。

- ・ 生徒・職員トイレの改修を行った。
- ・ 講堂のサッシの改修を行った。
- ・ 職員ロッカーの更新を行った。

4 樹徳幼稚園

(1) 園児の状況

平成27年度在園園児数

(平成27年5月1日現在)

学年	組				桐生市	みどり市	太田市	伊勢崎市 他
		男	女	計				
3歳未満 年少組	もも組		1	1				1
		9	4	13	9	3	1	
年中組	さくら組	5	10	15	11	1	2	1
年長組	たけ組	17	7	24	16	4	3	1
合計	3組	31	21	53	36	8	6	3

(2) 課外活動の状況

- ・ 預かり保育推進事業の実施

保育時間外や長期休業中に預かり保育を行った。

通常保育日数(開園日2時間以上の保育) 192日

長期休業日(1日4時間以上の保育) 26日

(3) 施設・設備の充実

- ・ 前年度末に園児のために園庭の大型遊具の改修を行った。

Ⅲ 財務の概要

1 決算の概要

(1) 資金収支計算書の状況

(単位:円)

		平成27年度				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比		
				増 減 額	比 率	
収入の部	学生生徒等納付金収入	547,792,000	565,289,360	▲ 17,497,360	45,072,090	108.66%
	手数料収入	53,429,000	55,204,965	▲ 1,775,965	225,840	100.41%
	寄付金収入	22,463,000	107,656,057	▲ 85,193,057	86,397,034	506.40%
	補助金収入	511,256,000	536,254,649	▲ 24,998,649	▲ 21,732,150	96.11%
	資産運用収入	49,545,000	54,417,383	▲ 4,872,383	16,461,328	143.37%
	資産売却収入	0	0	0	0	
	事業収入	16,818,000	18,586,152	▲ 1,768,152	3,041,844	119.57%
	雑収入	53,262,000	102,833,400	▲ 49,571,400	3,111,153	103.12%
	前受金収入	96,578,000	99,320,000	▲ 2,742,000	▲ 2,340,000	97.70%
	その他の収入	1,561,349,000	1,506,783,080	54,565,920	190,919,954	114.51%
	資金収入調整勘定収入	▲ 122,785,000	▲ 196,756,795	73,971,795	▲ 47,006,692	131.39%
	前年度繰越支払資金	503,080,000	503,079,493	507	▲ 84,194,460	85.66%
	収入の部合計	3,292,787,000	3,352,667,744	▲ 59,880,744	189,955,941	106.01%
支出の部	人件費支出	901,508,000	929,059,741	▲ 27,551,741	60,159,922	106.92%
	教育研究経費支出	197,072,000	380,741,652	▲ 183,669,652	210,848,840	224.11%
	管理経費支出	55,311,000	50,762,346	4,548,654	583,108	101.16%
	施設関係支出	826,153,000	721,190,631	104,962,369	▲ 107,574,369	87.02%
	設備関係支出	85,550,000	24,274,739	61,275,261	▲ 79,558,563	23.38%
	資産運用支出	115,500,000	253,063,062	▲ 137,563,062	23,550,645	110.26%
	その他の支出	497,360,000	556,226,694	▲ 58,866,694	92,521,398	119.95%
	予備費	22,689,000	0	22,689,000	0	
	資金支出調整勘定支出	▲ 42,200,000	▲ 89,313,406	47,113,406	▲ 34,157,832	161.93%
	次年度繰越支払資金	633,844,000	526,662,285	107,181,715	23,582,792	104.69%
	支出の部合計	3,292,787,000	3,352,667,744	▲ 59,880,744	189,955,941	106.01%

収入については、予算に対して59,880,744円増の3,352,667,744円となり、前年度に比べては189,955,941円の増収となった。(前年度比106.01%)

- ・ 「学生生徒等納付金収入」の増は、授業料の改定と生徒数増によるものである。
- ・ 「寄付金収入」の増は、学校創立100周年記念事業実施に関連する寄付等によるものである。
- ・ 「補助金収入」は、県の私学振興費補助金等であり、前年度対比減は、昨年は私立高等学校等IT教育設備整備費等の国庫補助金があったことによるものである。
- ・ 「資産運用収入」は、受取利息・配当金収入等の増によるものである。
- ・ 「雑収入」は、県私学振興会からの退職金収入等である。
- ・ 「前受金収入」は、28年度入学生の入学金及び設備費である。
- ・ 「その他の収入」は、施設設備整備に伴い引当特定資産からの繰入等により増加しているものである。

支出については、予算に対しては、人件費、教育研究経費、資産運用支出及びその他支出が増加したが、施設、設備関係及び資金支出調整勘定の減により、次年度繰越支払資金は前年度に比べ23,582,792円増加し、526,662,285円となった。

- ・ 「人件費支出」の増は、職員数の増等によるものである。
- ・ 「教育研究経費支出」の増は、建設仮勘定から修繕費等の支出科目への振替によるものである。
- ・ 「施設関係支出」は、100周年記念事業の新校舎建設・改修工事に係る経費で27年度支払い分である。
- ・ 「設備関係支出」は、新校舎等建設に伴う教育設備備品等の整備に係る経費である。
- ・ 「資産運用支出」は、引当特定資産への繰入支出によるものである。

(2) 消費収支計算書の状況

(単位:円)

		平成27年度				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比		
				増 減 額	比 率	
収入の部	学生生徒等納付金収入	547,792,000	565,289,360	▲ 17,497,360	45,072,090	108.66%
	手数料収入	53,429,000	55,204,965	▲ 1,775,965	225,840	100.41%
	寄付金収入	22,463,000	107,656,057	▲ 85,193,057	86,397,034	506.40%
	補助金収入	511,256,000	536,254,649	▲ 24,998,649	▲ 21,732,150	96.11%
	資産運用収入	49,545,000	54,417,383	▲ 4,872,383	16,461,328	143.37%
	資産売却差額収入	0	0	0	0	
	事業収入	16,818,000	18,849,952	▲ 2,031,952	3,284,984	121.10%
	雑収入	53,262,000	102,833,400	▲ 49,571,400	3,111,153	103.12%
	帰属収入合計	1,254,565,000	1,440,505,766	▲ 185,940,766	132,820,279	110.16%
	基本金組入額合計	▲ 853,300,000	0	▲ 853,300,000	499,026,886	
	消費収入の部合計	401,265,000	1,440,505,766	▲ 1,039,240,766	631,847,165	178.14%

支出の部	人件費支出	901,508,000	929,059,741	▲ 27,551,741	60,159,922	106.92%
	教育研究費支出	280,572,000	535,195,158	▲ 254,623,158	268,636,125	200.78%
	管理経費支出	149,911,000	64,999,517	84,911,483	744,628	101.16%
	借入金等利息支出	0	0	0	0	
	資産処分差額	0	265,914	▲ 265,914	▲ 113,017,954	0.23%
	徴収不能額	0	169,941	▲ 169,941	169,941	
	予備費	22,689,000	0	22,689,000	0	
	消費支出の部合計	1,354,680,000	1,529,690,271	▲ 175,010,271	216,692,662	116.50%
	当年度消費収支差額	▲ 953,415,000	▲ 89,184,505		415,154,503	17.68%
	前年度繰越消費収支差額	2,330,043,000	716,317,640		▲ 504,339,008	58.68%
	基本金取崩額	0	212,785,263		212,785,263	
翌年度繰越消費収入超過額	1,376,628,000	839,918,398		123,600,758	117.26%	

「帰属収入」は、予算に対して185,940,766円増の1,440,505,766円であり、前年度に比べては132,820,279円の増収となった。また、「消費収入」は予算に対して、1,039,240,766円増、前年度に比べては631,847,165円の増となった。

「消費支出」は、予算に対して175,010,271増の1,529,690,271円で、前年度に比べては216,692,662円増となった。

これにより消費収支差額は、89,184,505円の支出超過となり、前年度繰越消費収入超過額の716,317,640円と基本金取崩額の212,785,263円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は839,918,398円となった。

- ・ 「教育研究経費」と「管理経費」は、資金収支計算書の金額に減価償却額を加算している。

(3) 貸借対照表の状況

科 目	平成28年3月31日 (単位: 円)		
	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	10,655,041,805	10,759,760,333	▲ 104,718,528
有形固定資産	7,872,148,225	7,294,617,236	577,530,989
その他の固定資産	2,782,893,580	3,465,143,097	▲ 682,249,517
流動資産	687,556,124	637,889,334	49,666,790
資産の部合計	11,342,597,929	11,397,649,667	▲ 55,051,738
負債の部			
固定負債	0	0	0
流動負債	334,224,887	300,092,120	34,132,767
負債の部合計	334,224,887	300,092,120	34,132,767
基本金の部			
基本金の部合計	10,168,454,644	10,381,239,907	▲ 212,785,263
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	839,918,398	716,317,640	123,600,758
消費収支差額の部合計	839,918,398	716,317,640	123,600,758
負債の部・基本金の部 及び消費収支差額の部合計	11,342,597,929	11,397,649,667	▲ 55,051,738

「資産の部」では、「有形固定資産」は、新校舎建設に係る建設仮勘定から建物等資産科目への振替等により増加し、年度末では577,530,989円増の7,872,148,225円、「その他の固定資産」は、施設拡充引当特定資産等の減少により、682,249,517円減少し、2,782,893,580円となった。

「流動資産」は、現金預金及び未収入金等の増加により、49,666,790円増の687,556,124円となった。

その結果、総資産は、前年度末に比較して55,051,738円減少し、本年度末11,342,597,929円となった。

「負債の部」では、「固定負債」はなく、「流動負債」は、未払金、前受金、預り金で34,132,767円増の334,224,887円となった。

「基本金の部」では、1号基本金の増加により、基本金の合計は、対前年度で212,785,263円減の10,168,454,644円となった。

2 財務分析経年比較

区分	財務分析比率	評価	H23	H24	H25	H26	H27
貸借対照表	固定資産構成比率	低い値が良い	94.06%	94.60%	94.24%	94.40%	93.94%
	有形固定資産構成比率	低い値が良い	53.69%	54.55%	58.19%	64.00%	69.40%
	その他固定資産構成比率	高い値が良い	40.37%	40.05%	36.05%	30.40%	24.53%
	流動資産構成比率	高い値が良い	5.94%	5.40%	5.76%	5.60%	6.06%
	固定負債構成比率	低い値が良い	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	流動負債構成比率	低い値が良い	3.78%	2.36%	1.88%	2.63%	2.95%
	内部留保資産比率	高い値が良い	42.53%	43.09%	39.92%	33.37%	27.65%
	運用資産余裕比率	高い値が良い	340.10%	402.62%	359.42%	387.41%	218.05%
	自己資金構成比率	高い値が良い	96.22%	97.64. %	98.12%	97.37%	97.05%
	消費収支差額構成比率	高い値が良い	23.11%	22.62%	10.79%	6.28%	7.40%
	固定比率	低い値が良い	97.76%	96.89%	96.05%	96.96%	96.79%
	固定長期適合率	低い値が良い	97.76%	96.89%	96.05%	96.96%	96.79%
	流動比率	高い値が良い	157.11%	228.72%	306.00%	212.56%	205.72%
	総負債比率	低い値が良い	3.78%	2.36%	1.88%	2.63%	2.95%
	負債比率	低い値が良い	3.93%	2.42%	1.92%	2.70%	3.04%
	前受金保有率	高い値が良い	530.57%	760.10%	726.46%	494.86%	530.27%
	消費収支計算書	人件費比率	低い値が良い	70.72%	70.53%	78.04%	66.45%
人件費依存率		低い値が良い	184.16%	162.90%	183.05%	167.03%	164.35%
教育研究経費比率		どちらともいえない	27.55%	24.28%	21.57%	20.38%	37.15%
管理経費比率		どちらともいえない	4.96%	5.53%	5.41%	4.91%	4.51%
借入金等利息比率		低い値が良い	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
帰属収支差額比率		高い値が良い	-3.24%	-0.36%	-8.83%	20.95%	-6.19%
消費収支比率		低い値が良い	104.84%	108.36%	-1884.16%	160.65%	106.19%
学生生徒等納付金比率		どちらともいえない	38.40%	43.30%	42.63%	39.78%	39.24%
寄付金比率		高い値が良い	1.61%	1.85%	1.78%	1.63%	7.47%
補助金比率		高い値が良い	40.74%	42.68%	43.19%	42.67%	37.23%
基本金組入率		高い値が良い	1.53%	7.38%	105.78%	38.16%	0.00%
減価償却費比率		どちらともいえない	6.69%	8.45%	8.32%	10.71%	11.03%